

3月のささやまっこだより

春の足音が聞こえてくるこの時期、子どもたちの姿も一段とたのもしくなってきました。

先月はインフルエンザの感染が広まり、多くの子どもたちとご家族の皆さんにご心配ご迷惑をおかけしました。そして、家庭保育にご協力いただきましたみなさんには、心より感謝申し上げます。時間の経過と共に、感染した子どもたちの体調も戻り、登園できるようになってきています。これからも引き続き体調管理に注意しながら、今年度最後の月を有意義に過ごしていきたいと思ひます。

さて、ばら組さんは、小学校へ向けて自覚と期待が体からはじけ出そうな勢いを感じます。ふじ組さんは、保育園の最年長クラスのばら組さんになる責任感と、ばら組さんしかできない日本太鼓へのわくわく感。そんな気持ちが湧き出てきています。もも組さんは、お兄さんやお姉さんに憧れ、「よーし 私もがんばるわよ～」と進級への期待がはじめています。さくら組の2才児さんは、一番変化があるクラス。保育室は1階になり制服や体操服を着ることになります。「着替えは自分でしよう」「先生が少ないから自分のことは自分でしなくては」と何となく気づき始めます。もちろん担任が、子どもたちを見守る中でのことです。たんぽぽ組の1才児さん。洋服を着たり、食器を片付けたり自分でできることが増えてきました。0歳児のすみれ組さんは手と足で自分の体をしっかり支え、行動範囲も広がり新しい物へ興味津々。どの年齢の子どもたちも、その成長に目をみはるものがあります。子どもたちの成長はお父さん、お母さんをはじめ、家族中の皆さんの“まなざし”と、“協力”によって培われた「たまもの」だと思ひます。

子どもたちは、親の「ひと言ひと言」に励まされ、または傷ついたこともあるかと思ひます。しかし大好きなお父さん、お母さんがいう言葉には絶大な力があります。親子の信頼関係があれば少々のトラブルが起きてもはね返していけます。それには乳幼児期にしっかりと親子関係を作り(じゃれあう、抱きしめる、子どもの話を聞いてあげる等)、思春期になった時に慌てることのないように、今この時期を大切に過ごすことです。子どもたちは、お父さん、お母さんが仕事で忙しいこと、疲れていることを重々承知しています。だからこそ“しっかりわが子を抱きしめ、話を聞いてあげてほしいなあ”と思ひます。



3月の行事予定表

- 2日(木) 誕生会【2月生まれ】
- 3日(金) ひな祭りお茶会(ふじ、ばら組)
- 8日(水) 誕生会【3月生まれ】
- 10日(金) 卒園式リハーサル
- 15日(水) お別れ会
- 19日(日) 第45回卒園式
- 23日(木) 避難訓練
- 25日(土) 第46回入園式、園内研究会
- 31日(金) 新年度準備



25日は、家庭保育にご協力ください。

通常保育ですが、ご都合のつかれる方は、早めのお迎えに協力ください。(午後3:30以降)

4月前半の行事のみお知らせします

4月の行事予定表

- 1日(土) 新年度保育始まり
- 8日(土) 園内研究会

3月は、園だよりが2回ですのお楽しみに!

もも、ふじ、ばら組さん、生活発表会の一場面



令和5年3月1日

篠山保育園 園長 足立善一郎



ドスッ! ドスッ! 鬼の足音が近づいてきたぞお

2月3日、行事なのにあまり子どもたちからは歓迎されない「豆まき」がありました。豆まき経験のある子は、当日の登園も気が進まなかったことかと思われます。しかし、この豆まきで心の中にいる悪い鬼やおなかの中にある病気を追い出さなければなりません。園内に流れるBGM、そして“ドスッ ドスッ”と鬼の足音が!!ところが鬼が保育室に入るなり子どもたちの豆攻撃が!勢いがあつた鬼たちも最後ははたたくたになり、逃げだしてしまいました。



「自立への旅立ちは 1歳児からはじまる」

1歳をこえる頃、ひとりで立ち歩くようになります。歩くという、新しい力を獲得したことで、未知なる世界を確かめるようになり、人に頼らず、主体的に動き出すことが、自我の育ちへつながっていきます。立ち上がったことで手が自由になり、何でもさわって確かめるなど、新しいものへの興味はつきません。自由に探索や行動ができることで、探索心や好奇心も育ちます。意味のある言葉を獲得し、自我も芽生えます。自分が誰であるかわかると、子どもの“思い”や“つもり”は表情や行動に表れるので、行動をよく観察することが、1歳児を理解するうえで大切です。

また、基本的な生活習慣の基礎ができていく時期でもあります。靴下をはく、服を脱ぐ、食器を片づけるなど、大人に丁寧にやってもらったり、手助けしてもらいながら身につけていきます。丁寧にやってもらうことで、自分でできることは自分でやろう、という気持ちも育ちます。何よりも大切にしたいことは、自分でやれることへの喜びにつなげていくことではないでしょうか。

「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」著:今井和子

